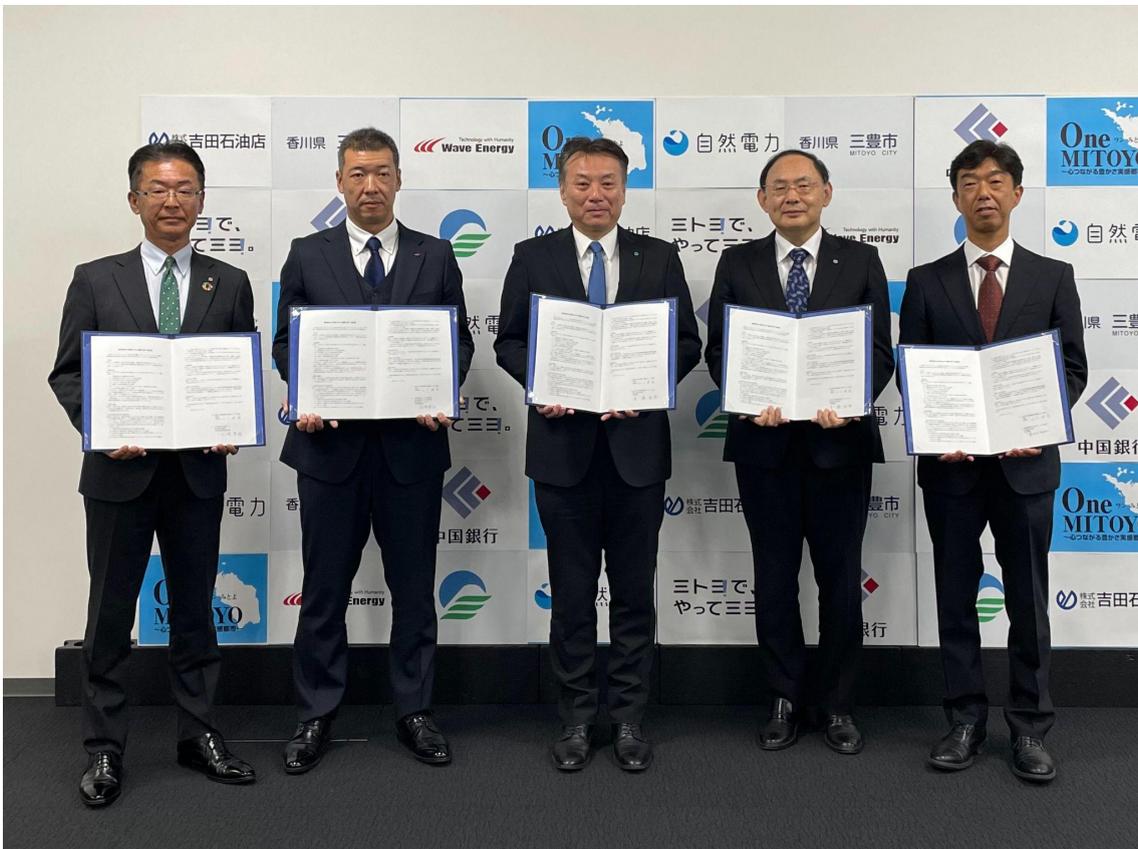


香川県三豊市と脱炭素社会の実現に向けた連携協定を締結

自然電力株式会社(以下、自然電力)は、三豊市(市長:山下昭史)と、脱炭素社会の実現に向けてグリーントランスフォーメーション(GX)の普及促進及び環境負荷の低減を図ることにより、持続可能な未来を築くことを目的に、「脱炭素社会の実現に向けた連携に関する協定」を、2023年11月30日付で締結しました。

この協定は、三豊市と自然電力の間で締結される他、三豊市と株式会社吉田石油店(以下、吉田石油店)、株式会社Wave Energy(以下、Wave Energy)、そして株式会社中国銀行(以下、中国銀行)との間でそれぞれ締結されており、これらの協定を元に、5者で「(仮称)三豊市カーボンニュートラル協議会」を設立する予定です。



(写真:2023年11月30日 協定締結式にて)

■連携協定締結の背景

自然電力は、これまで三豊エリアにおいて、地元企業・地元関連企業各社と共同で、宿泊施設「URASHIMA VILLAGE」や市民大学「暮らしの大学」といったプロジェクトを実施してきた他、2023年3月にはオンデマンド交通サービス事業を展開する「暮らしの交通株式会社」に出資をするなど、これまでの社会システムではカバーしきれない、教育、福祉、交通などを地元企業含む民間企業が協力しあい、新たな地域サービスを生み出す取り組みに携わってきました。

また三豊市とも、同市の農業の活性化と脱炭素化に貢献する営農型太陽光事業(ソーラーシェアリング事業)の普及促進、三豊市コミュニティバスの電動化について意見交換を

行ってまいりました。そして、この度、脱炭素社会の実現に向けて、自治体と民間企業が協力連携することで、エネルギーの効率的な利用や再生可能エネルギーの導入、温室効果ガス排出量削減など、地域全体で脱炭素活動を進めたいという三豊市の考えに賛同し、本協定を結ぶ運びとなりました。

■協力連携する事項

今回の協定において、協力連携する事項として下記を定めています。

1. 温室効果ガスの削減に関する事項
2. 脱炭素社会に向けたまちづくりに関する事項（健康で快適な生活、環境に配慮した交通手段など）
3. 再生可能エネルギーの普及に関する事項
4. エネルギー効率の向上に関する事項
5. 環境への負荷の低減に関する事項
6. カーボンニュートラルを実現するための教育、啓発活動に関する事項
7. その他両者が協議し合意した事項

【自然電力株式会社について】

2011年6月設立。「青い地球を未来につなぐ」を掲げ、太陽光・風力・小水力・バイオマスによる再生可能エネルギー発電所の開発・資金調達・アセットマネジメントを手掛ける。2016年より海外事業にも注力しており、東南アジア・ブラジルを中心に開発・発電事業を展開している。また、2019年からはエネルギーテック事業に参入し、自社開発のEMS(エネルギー管理システム)により、マイクログリッドやVPPの構築やEVのスマート充放電サービス等を提供する。これまでグループとして国内外で1ギガワット以上の再生可能エネルギー発電事業に携わっている。

- ・本社：福岡県福岡市中央区荒戸1丁目1番6号 福岡大濠ビル3F/6F
- ・代表取締役：磯野謙、川戸健司、長谷川雅也
- ・URL：<http://www.shizenenergy.net>

＜本件に関するお問い合わせ先＞
自然電力株式会社 広報部(担当:幸野)
Email: se-comm@shizenenergy.net